

WLKITB

クイックマニュアル

目次

1_はじめに	3
1.1 ご使用いただく前に	3
1.2 注意事項	4
1.3 保証	4
2_通信をはじめましょう	5
2.1 収納ケースから、機器を取り出します。	5
2.2 親機・子機が通信開始するのを待ちます。	6
2.3 通信確認が終了したら、安全に収納しましょう。	6
2.4 詳細な電波伝搬特性調査の実施	6
3_トラブルシューティング	7
4_出荷時設定	7

1 はじめに

1.1 ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認ください。

■ 梱包内容を確認してください

● 親機セット

・ WL40EW2-R 1台

● 子機セット

・ WL40W1-DAC4A-R 1台

● その他の付属品

・ 収納用ケース（大）	1個
・ 収納用ケース（小）	2個
・ ルーフトップアンテナ	2本
・ 給電用モバイルバッテリー	2個
・ 電源変換ユニット	2個
・ クイックマニュアル（本紙）	1部
・ 無線導入前電波試験マニュアル	1部

■ 形式を確認してください

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認してください。

■ 給電用モバイルバッテリーについて

くにまるデモキットを組み立てる前に、モバイルバッテリーを箱から取り出し充電を行ってください。
充電方法等については、バッテリー付属の取説をご参照ください。

※充電用ケーブルは Micro USB（USB A—Micro B）をご用意ください。

※お客様でモバイルバッテリーをご用意される際の注意事項

負荷電流 3A 供給可能なモバイルバッテリーを選定してください。
（本器の5Vラインには、電流制限抵抗 0.56Ωを内蔵しています。）

■ 取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書はくにまるデモキット（WLKITB）を運用するにあたり、注意すべき内容を記載したものです。

1.2 注意事項

■設置について

- 振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けてください。
- 周囲温度が 0～35℃を超えるような場所、周囲湿度が 30～80%RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けてください。
- デモキットを動作させる際は、1 セットのみで使用してください。複数のセットを動作させた場合、電波が混信して正常に動作しません。

■保管について

- 使用しないときは、モバイルバッテリーは取り外してください。
- モバイルバッテリーは、車内などの高温になる場所へは絶対に保管しないでください。変形や爆発のおそれがあります。

■その他

- 本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。
- モバイルバッテリーの充電量が 50%以上ある事を確認してご使用ください。
不足している場合は充電を行ってからご使用ください。
充電は、屋内（10～30℃）の安全な場所にて行ってください。
- 本器を用いて屋外で試験を行う際には、危険区域などに立ち入らないでください。また、熱中症対策などを行い、健康面に十分留意してください。

1.3 保証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後 3 年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。

ただし、収納用ケースや、モバイルバッテリー等の付属品については、保証の対象外となります。

2 通信をはじめましょう

2.1 収納ケースから、機器を取り出します。

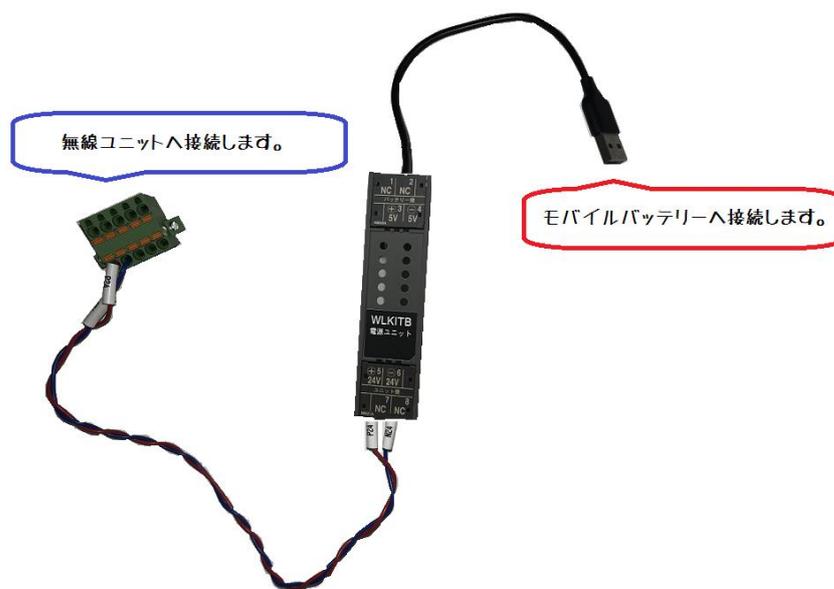
収納ケースから、親機、子機、モバイルバッテリー、電源変換ユニット、ルーフトップアンテナを取り出します。

- ①ルーフトップアンテナを親機・子機に取付けます。
コネクタ部を強く締めすぎないように注意してください。



- ②電源変換ユニットを用いて、モバイルバッテリーと親機、モバイルバッテリーと子機とをそれぞれに接続します。

モバイルバッテリー側が USB TypeA コネクタ、無線ユニット側が5ピンコネクタになります。



※モバイルバッテリーの特性上、逆さまにしたり、激しく振動させたりしないでください。
バッテリーの扱いについては十分注意してください。

2.2 親機・子機が通信開始するのを待ちます。

- ① 約 20 秒で通信開始します。

親機・子機間の無線通信が開始している状態では、920Link ランプが緑点灯となります。緑点灯が続く場合は、親機・子機の位置を変えて、電源の再投入を行ってください。

2.3 通信確認が終了したら、安全に収納しましょう。

- ①電源変換ユニットと、モバイルバッテリーを取り外してください。
- ②収納ケースに親機・子機、電源変換ユニットを収納してください。
- ③モバイルバッテリーは安全な場所に保管してください。

2.4 詳細な電波伝搬特性調査の実施

WLKITB を用いて、より詳細な調査を行う事が可能です。
くわしくは、WLKITB 無線導入前電波試験マニュアル (NM-9183-A) をご参照ください。

3 トラブルシューティング

3-1. 共通事項（親機・子機側）

現象	チェック内容	対応方法
機器のPowerランプが点灯しない。	モバイルバッテリーが十分に充電されていますか？	モバイルバッテリーを充電してください。
	モバイルバッテリーにUSBケーブルが接続されていますか？	モバイルバッテリーにUSBケーブルが正しく接続されているか確認してください。

3-2. WL40W1-DAC4A（子機側）

現象	チェック内容	対応方法
920Linkランプが緑点滅している。	親機(WL40EW2)の電源が入っていますか？	親機の電源を確認してください。
	親機(WL40EW2)は近くにありますか？	親機からの電波を受信できていません。親機を近くに移動してください。
	ルーフトップアンテナは接続されていますか？	ルーフトップアンテナを接続してください。接続されていないと電波の受信感度が悪くなります。

4 出荷時設定

・親機（形式：WL40EW2-R）

IPアドレス：192.168.0.3

サブネットマスク：255.255.255.0

主な920MHz無線設定

PAN ID：0001

ネットワーク名：MH920

チャンネル：33、34ch（チャンネル番号1）（中心周波数922.5MHz）

暗号鍵：000000000000000000000000000000000001

送信出力設定：20mW

・子機（形式：WL40W1-DAC4A-R）

主な920MHz無線設定

優先接続するPAN ID：0001

チャンネル：33、34ch（チャンネル番号1）（中心周波数922.5MHz）

ショートアドレス：0002

ネットワーク名：MH920

暗号鍵：000000000000000000000000000000000001

送信出力設定：20mW